JVC

GY-LS300CH 取扱説明書 追加変更のお知らせ

追加・変更された機能や表示変更についてのお知らせです。本書の「取扱説明書」とあわせてお読みください。

記録フォーマットのシステムに “C4K”、“C2K” 追加

[システム] → [記録設定] → [記録フォーマット] → [システム] に “C4K” および “C2K” を追加しました。

システム	形式	解像度	フレームレート	ビットレート
C4K	Quick Time	4096×2160	23.98p 24.00p	**150 M** **70 M**
C2K	Quick Time	2048×1080	23.98p 24.00p	**50 M (YUV422)** **50 M (XHQ)**

メモ :
- B スロットの各項目は A スロットと同じ設定値に固定されます。
- C2K 設定時、ライブストリーミングは使用できません。
- C4K 設定時、ネットワークは使用できません。
- C4K または C2K 設定時、コンポジットビデオは出力されません。
- C4K または C2K 設定時、タイムスタンプは使用できません。

システム “4K” のビットレート追加

[システム] → [記録設定] → [記録フォーマット] → [ビットレート] に “70M” を追加しました。

システム	形式	解像度	フレームレート	ビットレート (**太字**が追加)
4K	Quick Time	3840×2160	30p 25p 24p	150 M **70 M**

メモ :
- 4K 設定時、ネットワークは使用できません。

使用できる SD カードについて

フォーマット設定と使用可能な SD カードの組み合わせ

システム	形式	ビットレート	使用可能な SD カード
C4K,4K	Quick Time	150M	UHS-I U3 以上
		70M	Class10 以上
C2K		50M(YUV422)、50M (XHQ)	
HD		50M(YUV422)、50M(XHQ)	
		35M(UHQ)	Class6 以上
	AVCHD	–	Class4 以上
SD	–	–	
Web	–	–	

SD カードの記録可能時間めやす
- [システム]→[記録設定]→[記録フォーマット]→[形式]項目を“Quick Time” に設定時。

システム	C4K、4K		C2K、HD		SD	Web	
解像度	2160p		1080i / 1080p		480i / 576i	960p	480p
ビットレート	150M	70M	XHQ	UHQ	–	HQ	LP
4GB	3	6	9	12	47	130	285
8GB	6	13	18	25	95	270	580
16GB	12	26	36	50	190	540	1160
32GB	25	52	72	100	380	1080	2320
64GB (SDXC)	50	105	145	200	760	2160	4720
128GB (SDXC)	100	210	290	400	1520	4320	9440

（単位：分）

ヒストグラム機能追加

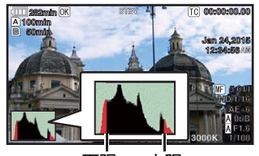
輝度分布を表したグラフで、主に画像の露出確認を行います。

1. ヒストグラム機能をオンにする
   - [メインメニュー]→[LCD / VF設定]→[表示設定]→[ヒストグラム] 項目を “ 入 ” に設定します。
   - “ ヒストグラム ” を割り当てたユーザーボタンでも行えます。
2. ヒストグラム表示の上限および下限を設定する
   設定した輝度レベルの表示色が赤になります。

項目	設定内容	選択肢
上限	ヒストグラム表示色を変更する輝度レベルの上限を設定	5% ～ 110%（5 % 刻み） 初期値 : 80%(4F-stop)
下限	ヒストグラム表示色を変更する輝度レベルの下限を設定	0% ～ 105%（5 % 刻み） 初期値 : 20%(0F-stop)

例 1）上限 110%、下限 0%

例 2）上限 90%、下限 10%



※ 赤のエリアは表示されません。

ヒストグラムの見かた
- 縦軸は画素数を表します。
- 横軸は画素の明るさを表します。

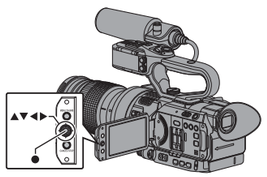
[カメラ設定] → [ガンマ] で “J-Log1” を設定している場合の設定値は下記になります。
上限：
[設定値：-5F-stop, -4F-stop, -3F-stop(2%), -2F-stop, -1F-stop, 0F-stop(18%), ⅓F-stop, ⅔F-stop, 1F-stop, 1⅓F-stop, 1⅔F-stop, 2F-stop, 2 ⅓ F-stop(90%), 2 ⅔ F-stop, 3F-stop, 3 ⅓ F-stop, 3 ⅔ F-stop, ● 4F-stop, 4 ⅓ F-stop, 4 ⅔ F-stop, 5F-stop, 5 ⅓ F-stop, 5⅔F-stop]
下限：
[設定値：-6F-stop,-5F-stop, -4F-stop, -3F-stop(2%), -2F-stop, -1F-stop, ● 0F-stop(18%), ⅓ F-stop, ⅔ F-stop, 1F-stop, 1 ⅓ F-stop, 1 ⅔ F-stop, 2F-stop, 2 ⅓ F-stop(90%), 2 ⅔ F-stop, 3F-stop, 3 ⅓ F-stop, 3 ⅔ F-stop, 4F-stop, 4 ⅓ F-stop, 4 ⅔ F-stop, 5F-stop, 5 ⅓ F-stop]

スポットメーター機能追加

撮影時の被写体の明るさを表示します。
映画や舞台などのライティング設定や、カメラの露出を決定するときに役立つ機能です。
LCD モニターとビューファインダー画面の映像に場所を示すカーソルと、その場所の明るさ（%）を表示します。
- 映像信号の明るさ表示にはゼブラ表示があり、出力映像の明るさを表示します。
- 本機能では、ガンマカーブなど映像処理に依存せず、レンズからの入力映像そのものの明るさを確認することができます。カメラのダイナミックレンジを 400 %とし、0 % ～ 400 %以上の明るさを表示します。

メモ :
- ゼブラ表示の範囲とは、一致しないことがあります。
- [カメラ設定] → [ガンマ] 項目を、“ シネマ ” に設定している場合、出力の 100IRE と、表示の 100 %は一致しません。
- [カメラ設定] → [ガンマ] 項目を、“ ITU709”、“ シネマ ” に設定している場合、最大で “400 %”,“ J-Log1” に設定している場合、最大で “800 %” と表示されます。

1. [メインメニュー] → [カメラ機能] → [ユーザーボタン機能設定] → [スポットメーター] 項目で下記を選択する



項目	設定内容	位置を表示する枠の色
最大と最小	画面の中で最も明るい場所と最も暗い場所の位置と明るさ（%）を表示します。また、枠を停止させることができます。	● 最大：緑色 ● 最小：黄色
最大	画面の中で最も明るい場所の位置と明るさ（%）を表示します。また、枠を停止させることができます。	緑色
最小	画面の中で最も暗い場所の位置と明るさ（%）を表示します。また、枠を停止させることができます。	黄色
マニュアル	指定した位置の明るさ（%）を表示します。	緑色 （位置指定時は緑色に点滅）

2. いずれかのユーザーボタンに “ スポットメーター ” 機能を割り付ける

メモ :
- ユーザーボタンの機能割り付けに “ スポットメーター” が追加されました。

3. “ スポットメーター ” を割り付けたユーザーボタンを押す。
   ボタンを押すごとに下記のように動作が切り換わります。

[最大と最小] / [最大] / [最小] に設定した場合
① ボタンを押すと設定に従ってカーソルが表示されます。
緑色と黄色の枠が表示され、その場所の明るさが表示されます。

② ①の状態でボタンを長押しすると、被写体の変化に応じて、画面の中での最大輝度（最大）、および最小輝度（最小）の位置が自動検出され、その場所の明るさが表示されます。

③ ②の状態でボタンを押すと自動検出が停止し、その位置で枠が固定され明るさが表示されます。
④ ボタンを押すと、カーソルおよび明るさ表示が消えます。

[マニュアル] に設定した場合
① ボタンを押すと、カーソル位置の明るさが表示されます。

② ボタンを押すと、カーソルおよび明るさ表示が消えます。

③ ①または②の状態でボタンを長押しすると、カーソルが緑色に点滅します。
十字ボタン（▲▼◀▶）でカーソルを動かし、明るさを表示する位置を指定します。
位置が決まったら、セットボタン（●）を押して位置を確定させます。

④ その位置で枠が固定され、明るさが表示されます。

メモ :
- すべての画面の明るさが 0%の場合、枠は真ん中に固定されます。

メニュー項目：[ガンマ] 設定項目追加および変更

[カメラ設定] → [ガンマ] の設定項目追加および変更をしました。
- ITU709：
  ITU-R709 をベースにダイナミックレンジを 400% まで拡張したガンマカーブになります。
- シネマ：
  映画用プリントフィルム特性をベースに TV モニター用に調整したガンマカーブになります。
  GAMMA LEVEL + 5 Knee85% でプリントスルーの S 字特性に近く、コントラストの高い映像になります。
- J-Log1：
  ポストプロダクション処理を前提とし、ログリズム曲線でコード化したダイナミックレンジ最大 800%の LOG カーブになります。

[設定値：● ITU709、シネマ、J-Log1]

メモ :
- [システム] → [記録設定] → [記録フォーマット] → [システム] が “SD”、“HD+Web” および、“HD” で [解像度] が “1280×720” の場合、“J-Log1” は設定できません。
- “ITU709” 選択時、[ガンマレベル] が “ 0 ” のとき、(ITU709) が表示されます。
- “J-Log1” 選択時、[カメラ機能] の [スムーストランス]、[FAW]、[顔検出] の選択はできません。
- “J-Log1” 選択時、[カメラ設定] の [ホワイトバランス] のみ選択可能です。
- “J-Log1” 選択時、アイリス、ゲイン、シャッターおよびホワイトバランスモードは、すべて手動モードになります。

[GAIN L/M/H] 設定値変更

[カメラ設定] → [ガンマ] で “J-Log1” に設定している場合の設定値を変更しました。
- [LCD / VF 設定]→[表示設定]→[ゲイン]項目が“dB”に設定されている場合
  [設定値：-6dB, -3dB, 0dB, 3dB, 6dB, 9dB, 12dB, 15dB, 18dB, 21dB, 24dB]
- [LCD / VF 設定]→[表示設定]→[ゲイン]項目が“ISO”に設定されている場合
  [設定値：ISO400, ISO500, ISO640, ISO800, ISO1000, ISO1250, ISO1600, ISO2000, ISO2500, ISO3200, ISO4000, ISO5000, ISO6400, ISO8000, ISO10000,ISO12800]

[Lolux] 設定値変更

[LCD / VF 設定] → [表示設定] → [ゲイン] 項目が “ISO” に設定されている場合の設定値を変更しました
- [カメラ設定] → [ガンマ] を “J-Log1” に設定している場合：
  [設定値：● ISO25600, ISO51200]
- [カメラ設定]→[ガンマ]を“ITU709”または“シネマ”に設定している場合：
  [設定値：● ISO12800, ISO25600]

メニュー項目：[LCD/VF 1D-LUT] 設定項目追加

[LCD / VF 設定] → [LCD/VF 1D-LUT] の設定項目を追加しました。
[カメラ設定] → [ガンマ] を “J-Log1” に設定している場合のみ、LCD / VF の表示を ITU-R709 に近い輝度で表示するか LOG 表示にするかの切り換え設定が可能です。
- 切：
  Log で撮影している画像をそのまま表示します。
- 入：
  Log 撮影された映像を、ITU-R709 に近い輝度で表示します。
  SDI・HDMI 出力、および記録画像は Log のままで影響はありません。

[設定値：● 切 , 入]

メニュー項目：[ガンマ] 表示設定追加

[LCD / VF 設定] → [表示設定] に “ ガンマ ” を追加しました。
- 入：
  カメラモード時のディスプレイ画面にガンマの設定状態を表示します。

[設定値：切、●入]

メニュー項目：[カラーマトリクス] 設定値変更

[カメラ設定] → [カラーマトリクス] の設定値を変更しました。
- ITU709：
  標準のカラーマトリクスにします。(ITU-R709 相当)
- シネマ（鮮やか）
  映画の画面特性に近く、あざやかな色合いのカラーマトリクスになります。
- シネマ（和らか）
  映画の画面特性に近く、落ち着いた色合いのカラーマトリクスになります。

[設定値：● ITU709, シネマ（鮮やか）、シネマ（和らか）]

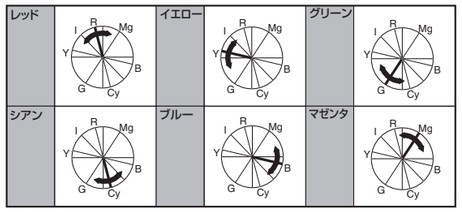
メニュー項目：カラーマトリクスの [調整] 追加

[カメラ設定] → [カラーマトリクス] → [調整] を追加しました。
- 本機はカラーマトリクスを好みの色に調整できます。

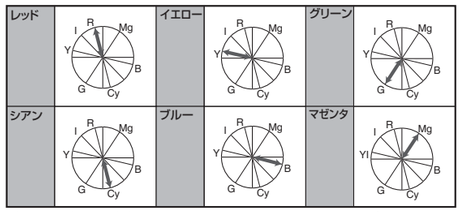
- 複数のカメラを用いて撮影する場合に、各カメラの色をあわせたり、本カメラを自分の好みの色再現に調整することができます。
- 原色と補色の計 6 色それぞれの彩度、色相、明度を設定することができます。
- DSC カラーチャートなどを使用してベクトルスコープおよび、波形モニターで色を調整してください。

※［カラーマトリクス］項目の “ スタンダード ”、“ シネマ (鮮やか)”、“ シネマ (和らか)” それぞれに調整値を保持することができます。

1. [カメラ設定] → [カラーマトリクス] / [調整] 項目を選択する
2. 色相の調整 [設定範囲：-5 ～ +5] (±5% めやす)
   - 十字ボタン（▲▼）で、色を選び、十字ボタン (▶) で決定します。(カーソルは色相に移動)
   - 十字ボタン（▲）を押すとベクトルスコープ上で時計周りに位相が回ります。
   - 十字ボタン（▼）を押すとベクトルスコープ上で反時計周りに位相が回ります。



3. 彩度の調整 [設定範囲：-10 ～ +10] (±10% めやす)
   - 十字ボタン (▶) を押すと、カーソルが彩度に移動します。
   - 各色それぞれベクトルスコープ上で図の矢印方向に変化します。
   - 十字ボタン（▲）を押すとベクトルスコープ上で色が円の外側方向に動きます。
   - 十字ボタン（▼）を押すとベクトルスコープ上で色が円の中心方向へ動きます。



4. 明度の調整 [設定範囲：-10 ～ +10] (±10% めやす)
   - 十字ボタン（▲）を押すと明るく、十字ボタン（▼）を押すと暗くなります。
   - 十字ボタン (▶) を押すと、カーソルが色相に戻ります。

メニュー項目：[ブラックペイント] 追加

[カメラ設定] → [ブラックペイント] を追加しました。
黒の色かぶりを Rch/Bch 各々調整することができます。

- 数字を大きく：
  赤味 / 青味を強くします。
- 数字を小さく：
  赤味 / 青味を弱くします。

[設定値：R/B：-50 ～+ 50(● 0)]

ゼブラ機能 “ 入 ” 時の表示アイコン追加

ゼブラパターンの表示動作中、カメラモード時のディスプレイ画面に（ゼブラアイコン）が表示されます。

メニュー項目：[記録トリガー] 設定項目変更および追加

[映像 / 音声設定] → [映像設定] → [HDMI / SDI 出力] → [記録トリガー] の設定項目を変更しました。

- HDMI
  ［HDMI］端子とカメラ本体の［REC］ボタンに連動してトリガー信号を重畳して対応機器へ録画 / 停止制御信号を出力します。
- SDI
  ［SDI OUT］端子とカメラ本体の［REC］ボタンに連動してトリガー信号を重畳して対応機器へ録画 / 停止制御信号を出力します。
- HDMI ＋ SDI
  ［HDMI / SDI OUT］端子とカメラ本体の［REC］ボタンに連動してトリガー信号を重畳して対応機器へ録画 / 停止制御信号を出力します。

[設定値：●切 , HDMI, SDI, HDMI+SDI]

メモ：

- [映像/音声設定]→[映像設定]→[HDMI / SDI出力]が“切”のとき、[記録トリガー] は “ 切 ” 固定となり選択できません。
- [システム]→[記録設定]→[記録モード]を“インターバルレック”または “ フレームレック ” にしたとき、[記録トリガー] は “ 切 ” 固定となり選択できません。
- 記録トリガーに対応していない機器を接続する場合は、” 切 ” に設定してご使用ください。

ライブストリーミングのビットレート追加

[システム] → [ネットワーク] / [設定] → [ライブストリーミング設定] → [フレーム数 / 画質] の設定値を追加変更します。

フレーム / 画質のフレーム数	解像度	**太字**が追加変更設定値
60i,60p,30p	1920×1080	60i(12Mbps), ● 60i(8Mbps), 60i(5Mbps),60i(3Mbps)
	1280×720	30p(8Mbps), ● 30p(5Mbps), 30p(3Mbps),30p(1.5Mbps)
	720×480	60i(8Mbps),60i(5Mbps), ● 60i(3Mbps), 60i(1.5Mbps),60i(0.8Mbps),60i(0.3Mbps)
	640×360	**30p(3Mbps), ● 30p(1.5Mbps), 30p(0.8Mbps),30p(0.3Mbps)**
50i,50p,25p	1920×1080	50i(12Mbps), ● 50i(8Mbps), 50i(5Mbps),50i(3Mbps)
	1280×720	25p(8Mbps), ● 25p(5Mbps), 25p(3Mbps),25p(1.5Mbps)
	720×576	50i(8Mbps),50i(5Mbps), ● 50i(3Mbps), 50i(1.5Mbps),50i(0.8Mbps),50i(0.3Mbps)
	640×360	**25p(3Mbps), ● 25p(1.5Mbps), 25p(0.8Mbps),25p(0.3Mbps)**

メニュー項目：[ライブストリーミング設定] 追加項目

[システム] → [ネットワーク] / [設定] → [ライブストリーミング設定] → [ストリーミングサーバー] → [Server1] / [Server2] / [Server3] / [Server4] に以下の項目を追加しました。

- 適応ビットレート
  “ 入 ” に設定すると、ライブストリーミングのビットレート設定値を最大とし、ネットワーク帯域の変化に応じて自動的にビットレートを変更します。[設定値：入、●切]

メモ：

- [タイプ]が“ZIXI”であり、[レイテンシ]が“中”または“低”のときにのみ、適応ビットレートが設定可能です。
  ※ “ 入 ” に設定時のみステータス画面にビットレートが表示されます。

- PCR ジッター
  “ 低 ” に設定すると、ライブストリーミングの PCR ジッターを低減します。[設定値：●標準、低]

メモ：

- [タイプ] が “MPEG2-TS/UDP” のときにのみ設定可能です。

メニュー項目：[APN] を追加

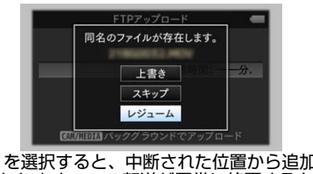
[システム] → [ネットワーク] / [設定] → [接続設定] に [APN] を追加しました。
※APN：アクセスポイントネーム (Access Point Name)
※APN を設定できないアダプターを装着している場合、グレー表示となり選択できません。

ご注意：

- APN の設定は本機ではなくセルラーアダプターに書き込まれます。誤った APN を設定した場合、通信できなかったり、通信会社から高額な請求をされたりする場合がありますので、正しく設定してください。

FTP レジューム機能追加

FTP 転送開始時、サーバーに同一名ファイルが存在し、かつ転送しようとしているファイルサイズより小さい場合、サーバー上のファイルは FTP 転送が中断された内容と判断してレジューム（追加書込み）確認画面が表示されます。



“ レジューム ” を選択すると、中断された位置から追加するように FTP 転送が行われます。FTP 転送が正常に終了すると、画面に “ 完了しました ” と表示されます。

メモ：

- レジューム機能付きの FTP サーバーが必要です。
- [システム] → [ネットワーク] / [設定] → [クリップサーバー] → [Clip-FTP1/2/3/4] → [プロトコル] を “SFTP” に設定した場合、“ レジューム ” 機能は無効になります。
- ネットワーク接続設定の [FTP プロキシを選択してください] 画面で “HTTP” を選択した場合、レジューム機能は無効になります。

メニュー項目：[プロトコル] に設定値 “ZIXI” 追加

[システム] → [ネットワーク] / [設定] → [クリップサーバー] → [Clip-FTP1/2/3/4] → [プロトコル] の設定値に “ZIXI” を追加しました。
“ZIXI” を選択すると、[システム] → [ネットワーク] / [設定] → [クリップサーバー] → [Clip-FTP1/2/3/4] の [ユーザー名] が [ストリーム ID] に変わります。[設定値：● FTP、SFTP、FTPS、FTPES、ZIXI]

メモ：

- “ZIXI” に設定する場合、別途専用のサーバーが必要になります。
- “ZIXI” に設定した場合、“ レジューム ” 機能は有効になります。

サムネイル画面の表示項目を追加

サムネイル画面の詳細画面のメタデータ表示に以下の項目を追加しました。

- クリップサイズ
- ガンマ

AVCHD のときの記録モードにクリップコンティュアス追加

［システム］ →［記録設定］→ [記録モード] で、“AVCHD” 形式のときの設定値に “ クリップコンティニュアス ” を追加しました。
クリップコンティニュアスレックは、“AVCHD” のときでも動作可能になりました。

メニュー項目：[SD アスペクト] に設定値 “ サイドカット ” 追加

[映像 / 音声設定] → [映像設定] → [SD アスペクト] に “ サイドカット ” の設定値を追加しました。

- レター：
  上下方向を黒くしたワイド映像で表示します。
- スクイーズ：
  左右方向を圧縮した映像を表示します。
- サイドカット：
  ワイド画面の左右をカットして表示します。

[設定値：●スクイーズ、レター、サイドカット]

メモ：

- [システム]→[記録設定]→[記録フォーマット]→[システム]で“SD”選択時は、“ スクイーズ ” と “ レター ” が選択可能です。
- [システム]→[記録設定]→[記録フォーマット]→[システム]で“C4K”または “C2K” 選択時は、設定できません。

4K,C4K 時の拡大フォーカス機能に 2.5 倍表示モードを追加

[システム] → [記録設定] → [記録フォーマット] → [システム] で 4K または C4K 時の拡大フォーカス機能に、約 2.5 倍表示を追加しました。セットボタンで、従来のドットバイドット相当表示（約 5 倍）と表示を切り換える事ができます。

メモ：

- 電源を入れて、最初の拡大フォーカスはドットバイドット相当表示（約 5 倍）になります。

メニュー項目：[グリップズーム] に設定値 “VSM-z” 追加

[カメラ機能] → [グリップズーム] に “VSM-z” の設定値を追加しました。
ズーム、フォーカス機能および VSM ズーム機能をグリップズームレバーに割り付けます。
“VSM-z” 設定をした場合、グリップズームレバーでスキャン範囲を可変することにより、VSM の範囲内でズームが可能になります。表示は画面右上のズーム表示箇所になります。
最大ズーム範囲は、“4K” で約 1.2 倍、“HD” で約 2.3 倍のズームになります。[設定値：●ズーム、フォーカス、VSM-z]

メニュー項目：[AF スピード] 追加

[カメラ機能] → [AF スピード] を追加しました。
AF の動作スピードを設定します。[設定値：高速、●中速、低速]

メモ：

- レンズによっては速度変化が少ない場合があります。

メニュー項目：[AF アシスト] に設定値 “ エリア ” 追加

[カメラ機能] → [AF アシスト] に “ エリア ” を追加しました。

- 切：
  AF アシスト機能を “ 切 ” にします。
- 遠近：
  AF 時にフォーカス操作をすると、オートフォーカスポイントを遠近方向に移動させることができます。フォーカス操作を止めた位置から近いフォーカスポイントに合うように自動調整されます。
- エリア：
  選択するとエリアに アイコンが表示されます。
  AF 時にフォーカス操作をすると、約 2 秒間フォーカスエリアが左側、中央、右側に表示されます。2 秒以内にグリップズームレバーを押すたびにオレンジ枠が移動し、フォーカスエリアを選択できます。
  エリア選択後、選択エリアに近いフォーカスポイントに合うように自動調整されます。

[設定値：●切、遠近、エリア]

アイリスダイヤルでアイリス / シャッター /AE レベルを操作できる設定を追加

[カメラ機能] → [アイリスダイヤル] に “ アイリス / シャッター /AE レベル ” の設定値を追加しました。
“ アイリス / シャッター /AE レベル ” を選択している場合、通常はアイリス操作ですが、シャッターボタンを押したあとはシャッター操作、AE ボタンを押したあとは AE レベル操作になり、操作後にアイリス操作に戻ります。[設定値：●アイリス、シャッター、AE レベル、アイリス / シャッター /AE レベル]

メニュー項目：[HDMI TC] 追加

[映像 / 音声設定] → [映像設定] → [HDMI TC] を追加しました。
HDMI 出力端子にタイムコードを重畳するかどうかを設定します。
[設定値：●切 , 入]

メモ：

- [映像 / 音声設定]→[映像設定]→[HDMI / SDI 出力]が“SDI”、“切”のとき [HDMI TC] は “ 切 ” 固定となり選択できません。
- HDMI TC に対応していない機器を接続する場合は、“ 切 ” に設定してご使用ください。

マーカーのアスペクト比の設定値追加

[LCD / VF 設定] → [マーカー設定] → [マーカー] → [アスペクト比] に C4K、C2K 時の設定値を追加しました。
全体画角のうち、最終的に使用する画像のアスペクト比を選択します。
［システム］設定が “4K”、“HD”、“SD”、“HD+Web” のとき
[設定値：16:9(+4:3)、2.35:1(上部)、2.35:1(中央)、1.85:1(上部)、1.85:1(中央)、● 16:9、1.75:1、1.66:1、14:9、13:9、4:3]
［システム］設定が “C4K”、“C2K” のとき
[設定値：1:85:1,1.9:1,2.35:1,2.40:1]

[HDMI/SDI 出力] の [解像度] 設定値変更

映像出力をネイティブフレームレート出力に変更し、設定値を追加しました。
［HDMI］端子または［SDI OUT］端子から出力される映像の解像度を接続するモニターにあわせて設定します。
[設定値：576i、576p、480i、480p、480i 、480i 、480p 、480p 、720p、1080i、1080p、1080/30p、1080/25p、1080/24p、2K /24p、2K /24p、C2K/24p、4K /24p、2160/24p、2160/25p、2160/30p、C4K/24p]

はサイドカットアイコン
は レターボックスアイコン

メモ：

- [システム]→[記録設定]→[記録フォーマット]→[フレームレート]で “24.00p” を設定している場合、[解像度] の 576i、576p、480i、480p は選択できません。

メニュー項目：[VSM] の設定値追加

[システム] → [記録設定] → [VSM] で、システム “C4K”、“C2K” のときの設定値を追加しました。
[システム] → [記録設定] → [記録フォーマット] → [システム] 項目の設定によって選択肢が変わります。

- [システム] 項目を “C4K” に設定時：
  [設定値：● 100%(Super35)、97%、95%、92%(C4K)、89%、86%、82%(MFT)]
- [システム] 項目を “C2K” に設定時：
  [設定値：● 100%(Super35)、97%、95%、92%(C4K)、89%、86%、82%(MFT)、76%、72%、67%、63%、59%、54%、52%(Super16)、50%、46%(C2K)]
- [システム] 項目を “4K” に設定時：
  [設定値：● 100%(Super35)、97%、95%、92%、89%、86%(4K)、83%、80%(MFT)]
- [システム] 項目を “HD”“SD”“HD ＋ Web” に設定時：
  [設定値：● 100%(Super35)、97%、95%、92%、89%、86%(4K)、83%、80%(MFT)、76%、72%、67%、63%、59%、54%、52%(Super16)、47%、43%(HD)]

その他のご注意

- 質量 0.8kg 以上のレンズを装着する場合には、サポートシステムを使用してください。
- 本書の「取扱説明書」に記載している “MPEG LA MPEG-2 Patent” は、本製品では対象外となります。

© 2015 JVC KENWOOD Corporation